



ネットワークコンビネーションカメラ（ドーム型）

型名 **VN-V685** はじめにお読みください (A)
VN-V686B

LST0816-001B

ご購入ありがとうございます。
ご使用前にこの[はじめにお読みください]と[安全上のご注意]をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別冊の[安全上のご注意]は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。ご購入の際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

- 本書では **VN-V685/VN-V686B** の基本的な使い方を説明します。
- VN-V685/VN-V686B の詳しい使い方は、付属の CD-ROM 内の [取扱説明書（設置編）] (pdf)、[取扱説明書（設定編）] (pdf) をご覧ください。
- 最新の情報については、付属の CD-ROM 内の "README" ファイルをご覧ください。
- 付属の CD-ROM には、[取扱説明書（設置編）] (pdf)、[取扱説明書（設定編）] (pdf)、[API ガイド] (pdf)、[検索ツール] が含まれています。
- 本書記載内容について
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、® などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 添付物・付属品をご確認ください。
- はじめにお読みください
 - 安全上のご注意
 - 保証書
 - ビクターサービス窓口案内
 - 天井取付金具
 - ドームカバー
 - テンプレート
 - CD-ROM
 - ワイヤークランプ

動作環境

推奨するパソコンの仕様

- OS : Windows XP (Professional または Home Edition)(SP2)
: Windows Vista Business (SP1)
CPU : Pentium4 2GHz 以上
メモリー容量 : 1 GB 以上
ハードディスク空容量 : 512 MB 以上の空き容量
ディスプレイおよびビデオカード : 1024×768 ピクセル以上、True Color (24 ビットまたは 32 ビット)
VRAM 8 MB 以上 (256 MB 以上を推奨)
Web ブラウザ : Internet Explorer
XP : Version 6.0
Vista : Version 7.0

LAN 環境

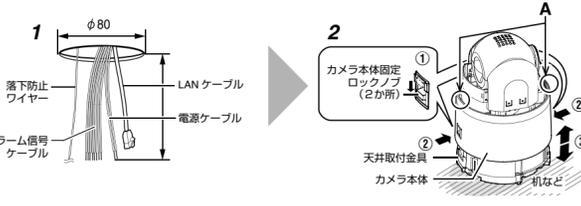
- IEEE802.3 準拠のスイッチングハブなどで相互に接続された 10BASE-T/100BASE-TX ネットワーク
 - PoE を利用する場合は、IEEE802.3af 準拠のスイッチングハブなど
 - マルチキャストを利用する場合は、IGMPv2 準拠のネットワーク
- メモ:
- 統合ビューワーで MPEG4 を利用するには、オープンソースのコーデック ffdshow をパソコンにインストールしてください。ffdshow はインターネットから入手できます。お客様によるオープンソースソフトウェアのご使用については、当社は一切の責任を負いません。

カメラの取り付け

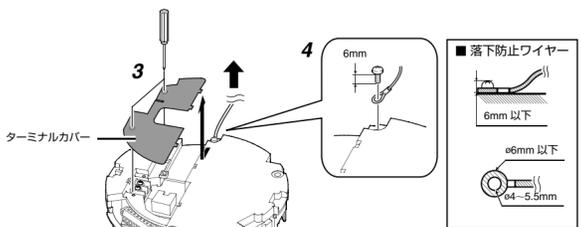
準備

カメラの取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

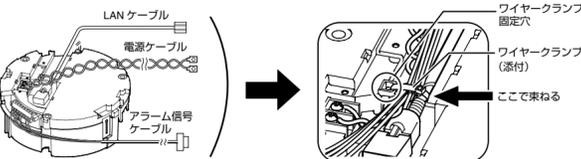
- 1 天井に穴をあけ（添付のテンプレート使用）、ケーブル類を穴から出す
- 2 カメラ本体から天井取付金具をはずす
 - ① ロックされていないのを確認（ロックされている場合は矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除）
 - ② 矢印の方向に左右から押し込む（カメラ本体固定ロックノブが押し込みにくい場合、カメラ本体の縁（図 A）を作業している机などに押し付けながらロックノブを押し込む）
 - ③ カメラ本体を上部に持ち上げはす



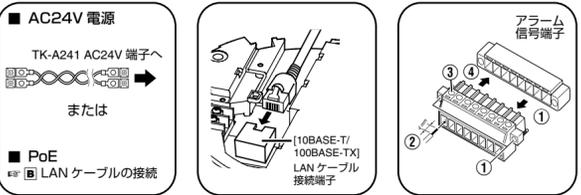
- 3 ターミナルカバーをはずす
- 4 落下防止ワイヤーを取り付ける（天井と天井取付金具をつなぐ）



5 ケーブル類を接続し、ワイヤークランプ（添付）で束ねる

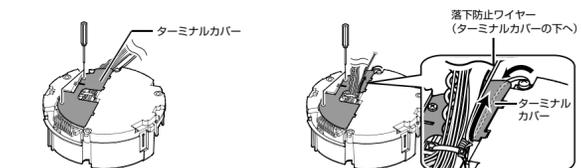


電源の接続



6 ターミナルカバーを取り付ける

- ケーブルを横出しする場合
- ケーブルを上出しする場合



A 電源の接続

本機に電源を供給するには、AC 24 V 電源と接続する方法と、PoE を利用する方法があります。

- AC24V と接続する場合の電源ケーブルについて（参考値）

導体直径 (mm)	φ1.0 以上	φ1.6 以上	φ2.0 以上	φ2.6 以上
最大接続距離 (m)	50	150	230	390

ご注意:

- 電源ケーブルと LAN ケーブルの両方から電源が供給された場合、電源ケーブルからの電源が優先されます。
- 工場出荷時点では VN-V685/VN-V686B の IP アドレスはすべて 192.168.0.2 となっています。そのため、同一 LAN 環境下で同時に複数台のカメラ電源を投入すると、IP アドレスの重複が起こり、正しくアクセスできなくなります。必ず 1 台ずつ電源を投入し、重複しない IP アドレスを設定してください。

注意

本機の電源定格は、AC24 V 50 Hz/60 Hz です。正しい電圧でお使いください。AC24 V は必ず一次電源から絶縁されたものをお使いください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービスセンターへ連絡してください。定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにサービスセンターへ連絡して点検（有償）を受けてください。

B LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルでハブまたはパソコンに接続します。
ハブに接続する場合 : ストレートケーブルを使用してください。
パソコンに接続する場合 : クロスケーブルを使用してください。

使用 LAN ケーブル

- STP (シールドケーブル推奨)
- 長さ 100 m 以下
- カテゴリー 5 以上

C アルーム信号端子の接続

アルーム信号入出力端子と、センサー、プザーなどの外部機器を接続します。

- ① 端子台の両端のスクリューをマイナスドライバーで緩めてはすします。

メモ:

- ドライバーの先端を端子台の隙間に入ると端子台がはずしやすくなります。

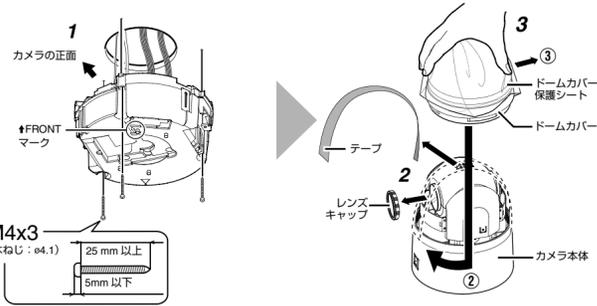
- ② アルーム信号ケーブルの被ふくを 4mm ほどむいて、端子に差し込みます。
- ③ 側面のスクリューを回しアルーム信号ケーブルを固定します。
- ④ アルーム信号ケーブルを固定したら、① ではずした端子台をもとに戻します。

使用アルームケーブル

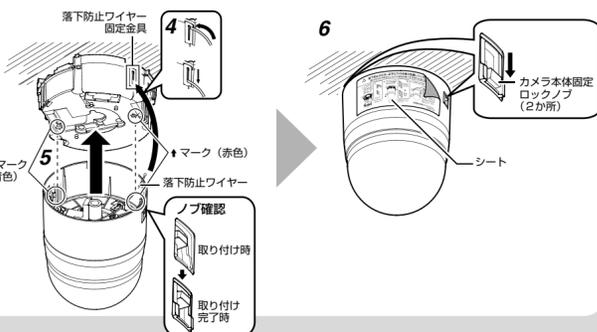
- 長さ 50 m 以下
- UL1007 もしくは UL1015 相当品
- AWG#22 ~ AWG#18 相当品

取り付け

- 1 天井取付金具を天井に固定する
- 2 カメラのレンズ部のテープ、レンズキャップをはずす
- 3 ドームカバーをカメラ本体に取り付け、保護シートをはがす
 - ① ドームカバーやレンズにゴミが付いていないかを確認
 - ② ドームカバーを時計方向に回して取り付ける
 - ③ 保護シートをはがす



- 4 落下防止ワイヤーを取り付ける（天井取付金具とカメラ本体をつなぐ）
- 5 カメラ本体を取り付け、カメラ本体ロックノブを確認する
- 6 ロックし、シートをはがす
 - 安全のため、シートに書かれている内容について再度ご確認ください。



▼
裏面へつづく

IP アドレスの設定

本項目は、Windows XP を基本的に記述してあります。

IP アドレスの設定手順

カメラの IP アドレスを下記手順で設定します。

Step1 設定用パソコンの IP アドレス設定

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。

▼

Step2 Internet Explorer の設定

設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。

▼

Step3 カメラとパソコンの接続

設定用パソコンとカメラを接続します。

▼

Step4 カメラの IP アドレスを設定

【基本設定 1】画面の [IP 設定] 項目を、“固定 IP”または、“DHCP”に設定します。

▼

Step 1 設定用パソコンの IP アドレス設定

工場出荷時のカメラは“固定 IP”（DHCP クライアント機能がオフ）になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。設定用パソコンの IP アドレスを下記と通信できるように設定してください。（例えば IP アドレスを 192.168.0.100、サブネットマスクを 255.255.255.0）

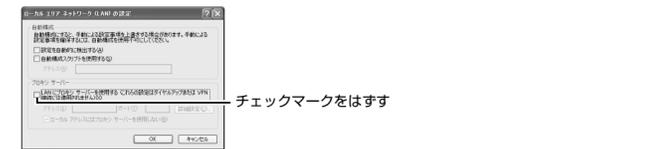
IP アドレス　　： 192.168.0.2
サブネットマスク　： 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ： なし

Step2 Internet Explorer の設定

1 パソコンで Internet Explorer を起動する

2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

- 【ツール】-【インターネットオプション】-【接続】-【LAN の設定】の順に選択し、【ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定】ウィンドウの【プロキシサーバー】内の【LAN にプロキシサーバーを使用する】のチェックマークをはずします。



3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

●まず【ツール】-【インターネットオプション】-【セキュリティ】で、【信頼済みサイト】を選択します。その後、直下の【信頼済みサイト】【サイト...】ボタンが押せるようになり、それをクリックし表示されるウィンドウで、【このゾーン内のサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする】のチェックマークをはずし、カメラの URL をゾーンに追加します。カメラが工場出荷時の設定のときは、次の URL をゾーンに追加します。

http://192.168.0.2

- 次に【ツール】-【インターネットオプション】-【セキュリティ】で【信頼済みサイト】を選択し、【レベルのカスタマイズ】ボタンを押します。開いた【セキュリティの設定】ウィンドウから【スクリプト】-【アクティブスクリプト】の【有効にする】を選択します。



4 Internet ExplorerでActive Xコントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- 【ツール】-【インターネットオプション】-【セキュリティ】で、【信頼済みサイト】をクリックします。【レベルのカスタマイズ】ボタンを選択し、【セキュリティの設定】ウィンドウを開きます。開いたウィンドウから【Active X コントロールとプラグイン】の全項目を【有効にする】にします。また、【その他】にある【サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する】を有効にします。



5 ポップアップブロックを無効にする

Internet Explorer でポップアップブロックが“有効”になっていると、カメラを接続することができません。その場合には下記手順で、ポップアップブロックを“無効”にしてください。

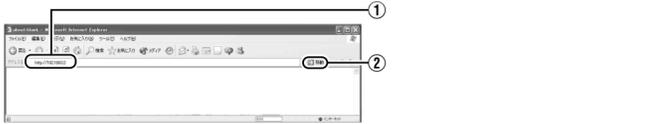
- 【ツール】-【ポップアップブロック】-【ポップアップブロックを無効にする】を選択すれば、すべてのサイトが許可されます。
- 本機などの特定のサイトだけ許可したい場合には【ツール】-【ポップアップブロック】-【ポップアップブロックを有効にする】を選択し、その後、選択可能になる【ツール】-【ポップアップブロック】-【ポップアップブロックの設定】を選択し、【ポップアップブロックの設定】ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。

6 ツールプラグインを Internet Explorer に入れている場合、ツールプラグインのポップアップブロック機能も無効にする

Step3 パソコンとカメラの接続

1 Internet Explorer を起動する

- IP アドレス [http://192.168.0.2]（例：工場出荷時）を入力します。
- 【移動】をクリックします。



メモ:

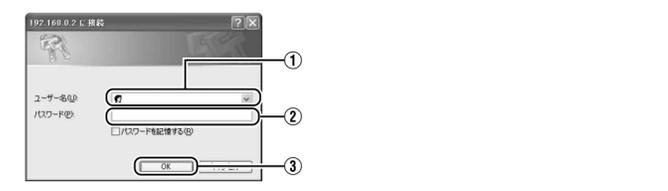
- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行なってください。
- 統合ビューワーを経由しないで【基本設定 1】ページを開く場合は Internet Explorer のアドレス欄に【基本設定 1】ページの URL を入力します。
 - VN-V685 の場合 http://192.168.0.2/cgi-bin/v685display.cgi?v685basicmenu1.html
 - VN-V686B の場合 http://192.168.0.2/cgi-bin/v686display.cgi?v686basicmenu1.html
- 【セキュリティ警告】画面が表示されたら【はい】ボタンを押し、先に進んでください。

■ カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスし設定、変更することができません。IP アドレスを知る手段としては、以下があります。
●添付 CD-ROM の【TOOL_J】フォルダにある“検索ツール”を使って、LAN 内のカメラを検索することができます。
＊【検索ツール】の詳細については、【TOOL_J】フォルダにある“README”ファイルをご覧ください。

2 ユーザー名、パスワードを入力する（管理者権限でログインします）

- ユーザー名を入力します。（工場出荷時は“admin”）
- パスワードを入力します。（工場出荷時は“jvc”）
- クリックします。



メモ:

- 【セキュリティ情報】画面が表示されたら、【はい】ボタンをクリックして先へ進んでください。

3 カメラの統合ビューワーが表示され、オペレーターパスワード入力画面が表示される

- オペレータのパスワード（工場出荷時は“jvc”）を入力します。
- クリックします。



Step4 カメラの IP アドレスを設定

1 統合ビューワーの【詳細設定】をクリックする



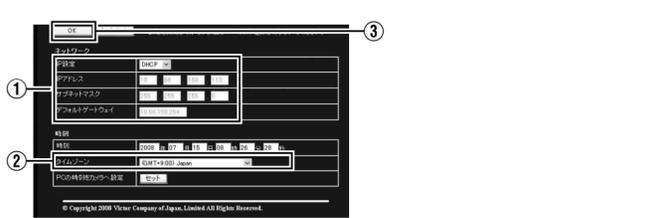
2 【基本設定 1】ページが表示される

- [IP 設定] 項目を設定します。
 - “固定 IP”に設定する場合は：
 - 【IP 設定】項目を“固定 IP”にし、【IP アドレス】、【サブネットマスク】、【デフォルトゲートウェイ】の欄に設定したい値を入力します。
 - “DHCP”に設定する場合は：
 - 工場出荷時は“固定 IP”（DHCP クライアント機能がオフ）になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの【IP 設定】項目を“DHCP”に設定し、【OK】ボタンをクリックしてください。
 - カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意:

- DHCP サーバーからカメラの MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行なってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

- 【タイムゾーン】を選択します。
- クリックします。

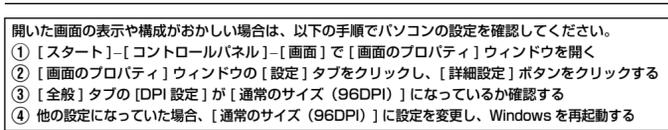


3 確認の画面が表示されたら【OK】ボタンをクリックする

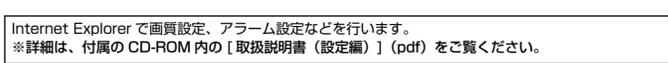
- 本機は新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 1 分かかります。

メモ:

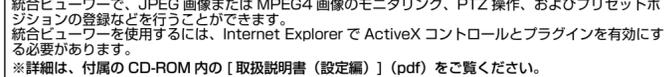
- カメラの IP アドレスが変更されたため、このパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。



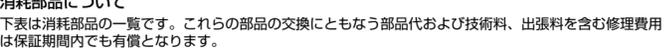
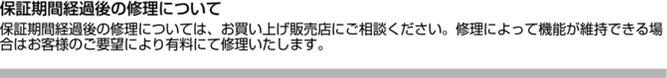
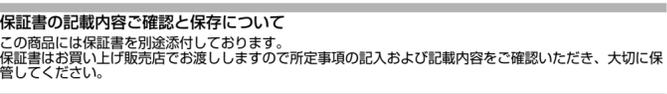
Internet Explorer を使った設定



統合ビューワーの操作



保証とアフターサービス



部品名	備 考
ズームレンズ組み立て スリッピング 冷却ファン	消耗部品

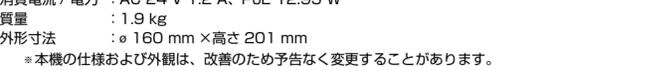
● 消耗部品の寿命のめやす

- ズームレンズ組み立て
 - ズーム動作.....約 200 万動作
 - フォーカス動作.....約 400 万動作
- スリッピング.....約 500 万動作
- 冷却ファン.....約 5 万時間

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは	お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。
品名	：ネットワークコンビネーションカメラ（ドーム型）
品番	：VN-V685/VN-V686B
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：



© 2009 Victor Company of Japan, Limited